

電話交換機設備保守点検業務

1. 委託場所

箕面市立病院

2. 対象設備

構内電話交換設備

3. 一般事項

- 1) 本仕様書その他、みのおライフプラザ複合施設管理業務委託基本仕様書（以下「基本仕様書」という。）を適用する。
- 2) 提出書類（原則としてA4版とする）
 - ① 施行中 点検報告書（点検完了のつど） 1部
 - ② その他発注者又は施設管理者の指示するもの

4. 設備概要

別表1「設備概要」のとおり

5. 業務内容

- 1) 定期点検
対象設備について別表2「点検内容」に示す点検を実施し、その結果について報告する。
- 2) 遠隔監視
電話回線を使用し受注者のサービスセンターにて交換機故障の遠隔監視を行う。
- 3) 臨時点検（随時）
遠隔監視により故障が判明した場合、不定期故障発生連絡を受けた場合は、受注者及び統括責任者の指揮命令の下で、必要に応じて速やかに業務担当者を派遣するなどにより原因を究明のうえで適切な処置を行うこと。
- 4) 保守（定期点検・臨時点検のつど）
定期点検及び臨時点検の結果に応じ下記の保守を実施する。
 - ① 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
 - ② 取付不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
 - ③ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
 - ④ 次に示す消耗部品の交換又は補充
 - a. 潤滑油、グリス等
 - b. ランプ類、ヒューズ類
 - c. 電話機用コード部品
 - d. ジャンパ線等、その他保守用消耗部品類

e. 用紙、インクリボン

⑤軽微な損傷がある部分の補修

⑥その他これらに類する軽微な作業

ただし、遠隔監視は上記によらず委託期間中全日実施すること。

* 平日とは土・日・祝祭日・休日・年末年始の外来休診日以外をいう

6. 特記事項

- 1) 基本仕様書 6－1 業務計画書、6－2 作業計画書に基づいて施行すること。
- 2) 点検を行う場合には、あらかじめ施設管理者及び統括責任者から劣化及び故障状況を聴取し、点検の参考とすること。
- 3) 異常を発見した場合は、同様の異常発生が予想される箇所の点検を行うこと。
- 4) 別途修理を要する箇所を発見したときは、速やかに施設管理者及び統括責任者に報告するとともに、応急措置により作動不良の範囲を極力縮小すること。
- 5) 交換機本体基盤の修理は本委託に含む。(通常の使用に伴い生じたものに限る)
- 6) 点検作業に使用する油脂類、ランプ類、ヒューズ類、電話機用コード部品、ジャンパ線、その他保守用消耗部品類は受注者負担とする。
- 7) 用紙、インクリボン等、上記以外の交換消耗部品は施設管理者負担とする。
- 8) 西日本電信電話株式会社等の電話会社に対する諸申請等手続一切は、受注者が責任をもってこれを代行すること。
- 9) 内線電話機等の機器を増減する必要がある場合、施設管理者及び受注者が協議のうえで行う。
- 10) 回線テスト、遠隔監視等で必要な通話料金のうち、対象施設から発信するものについては、施設管理者の負担とする。

【別表 1】

設 備 概 要

設 備 名		数量(現用/実装)
デジタル電子交換機（D O 1） （蓄電池及び整流機含む）		1 式
局線中継台		2 台
課金装置（I F E）		1 式
障害プリンター		1 式
回 線	局線	2 4 / 5 6
	専用線（L D）	4 / 8
	ナースコール連動	6 / 7
	アナログ内線	3 6 2 / 4 1 6
	デジタル多機能（使用電話機：MKT24D他）	7 2 / 8 0
C S アンテナ		7 6 台

【別表 2】

点 検 内 容

点 検 項 目	点 検 周 期
制 御 系 機 能 試 験	1 回 / 月
局 線 、 専 用 線 回 路 接 続 試 験	
内 線 回 路 点 検 試 験	
シ ス テ ム メ ッ セ ー ジ 確 認	
運 転 フ ァ イ ル 試 験	
蓄 電 池 点 検	1 回 / 年
電 話 機 点 検	
機 器 点 検 整 備	1 回 / 月
主 端 子 盤 点 検	
機 器 点 検 、 掃 除	